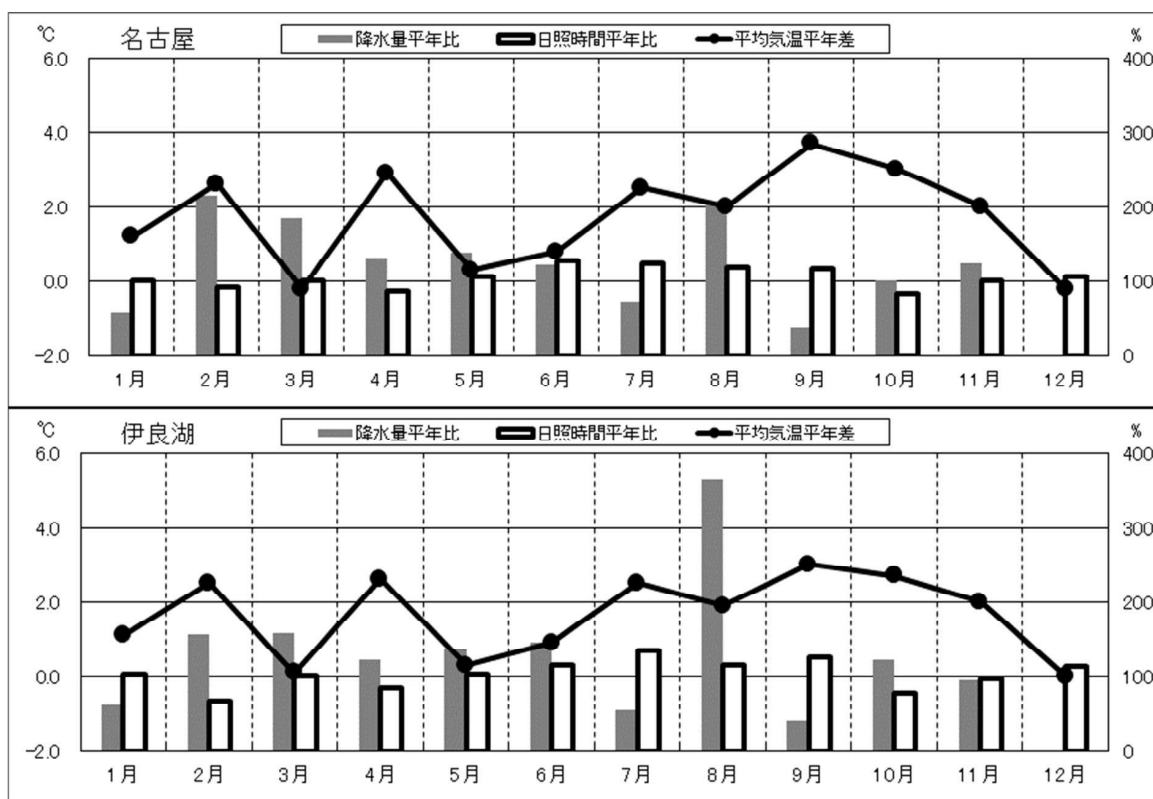


2024年（令和6年）の愛知県の天候

令和7年1月21日
名古屋地方気象台

【天候の特徴】

- 年平均気温**は、名古屋が17.9℃、伊良湖が18.0℃で、ともにかなり高くなり、年平均気温の高い方から観測史上1位の値を更新しました。月平均気温は、名古屋は2月、4月、及び7月から11月に、伊良湖は1月、2月、4月、及び6月から11月に、暖かい空気に覆われやすかったため、かなり高くなりました。
- 年降水量**は、名古屋が1773.0mmで多く、伊良湖が1969.5mmでかなり多くなりました。月降水量は、名古屋は2月と3月に、伊良湖は3月、6月、及び8月に、低気圧や前線、及び台風の影響を受けてかなり多くなりました。また、名古屋は12月、伊良湖は9月と12月に晴れの日が多かったため月降水量がかなり少なくなりました。
- 年間日照時間**は、名古屋が2242.5h、伊良湖が2298.0hで、ともに多くなりました。月間日照時間は、名古屋は6月、伊良湖は7月と9月に、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、かなり多くなりました。



○東海地方の**梅雨入り**は6月21日ごろでかなり遅く（平年：6月6日ごろ）、**梅雨明け**は7月18日ごろで平年並（平年：7月19日ごろ）となりました。

○**台風**の発生数は26個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は2個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は3個（平年の接近数：3.5個）でした。

【2024年（令和6年）の台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数】

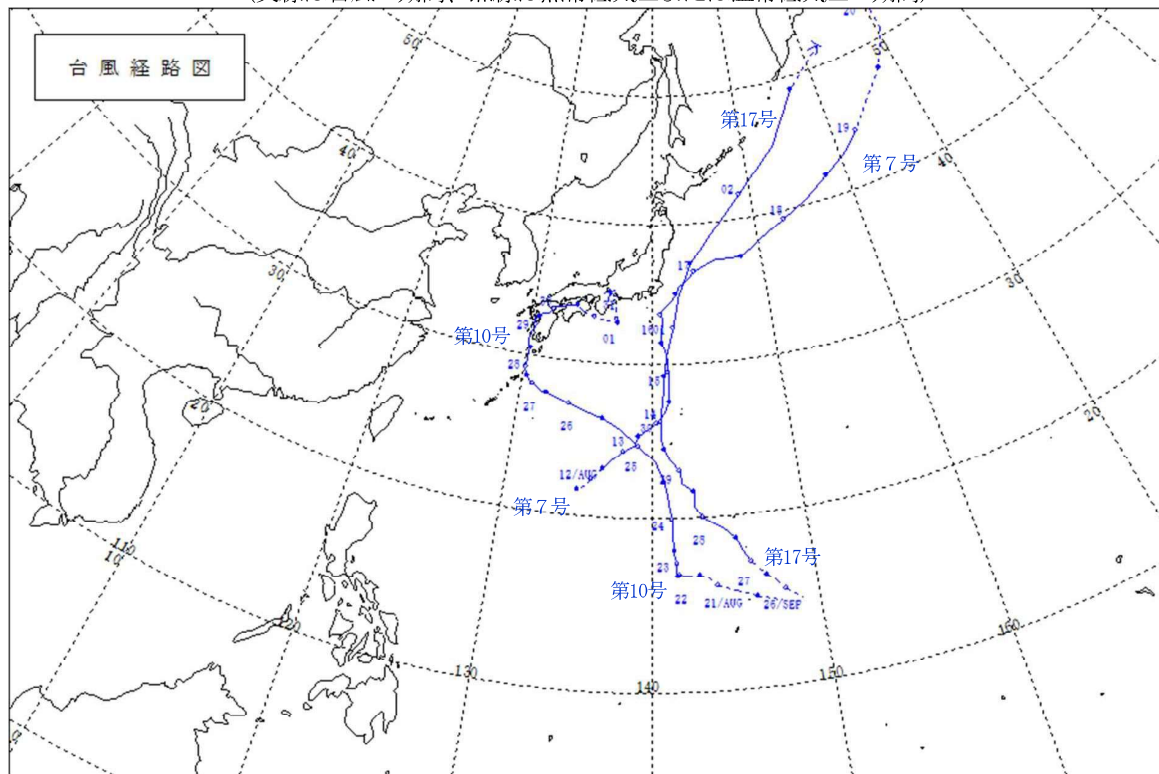
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
昨年	発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

※東海地方に接近した台風：中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風

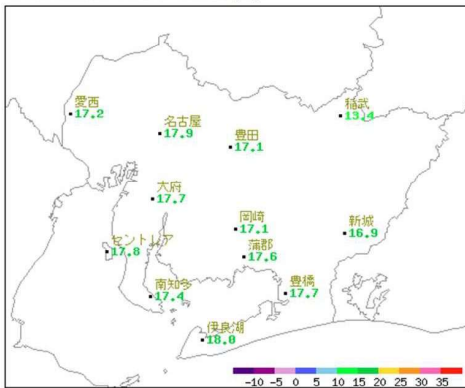
接近は2か月にもたがう場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

速報値であり、後日値が変わる可能性があります。

東海地方に接近した台風（第7号、第10号、第17号）の経路図
（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）



アメダス年別値 2024年 平均気温(℃)

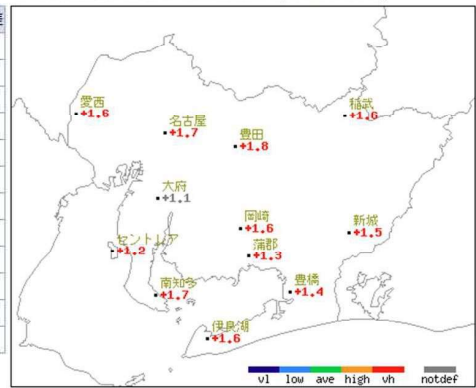


2024年の年平均気温分布図 (℃)

地点名	実況値	平年値	平年差
愛西	17.2	15.6	+1.6
稲武	13.4	11.8	+1.6
名古屋	17.9	16.2	+1.7
豊田	17.1	15.3	+1.8
大府	17.7	16.6	+1.1
岡崎	17.1	15.5	+1.6
新城	16.9	15.4	+1.5
セントレア	17.8	16.6	+1.2
蒲郡	17.6	16.3	+1.3
南知多	17.4	15.7	+1.7
豊橋	17.7	16.3	+1.4
伊良湖	18.0	16.4	+1.6

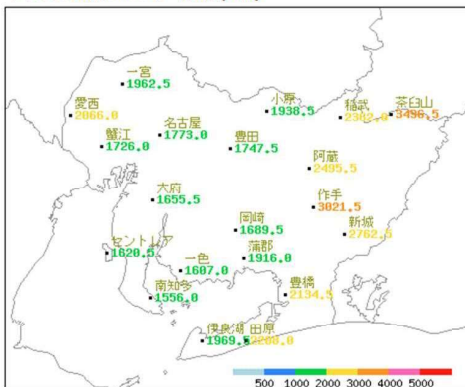
記号 統計値区分
 D 正常値
 ー 現象なし
 D) 準正常値
 D) 資料不足値
 X 欠測
 // 平年値なし
 D@ [参考]平年値

アメダス年別値 2024年 平均気温平年差(色・階級・値-℃)



2024年の年平均気温平年差分布図 (℃)

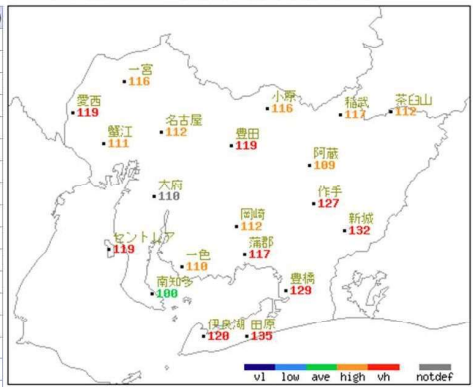
アメダス年別値 2024年 降水量(mm)



2024年の年降水量分布図 (mm)

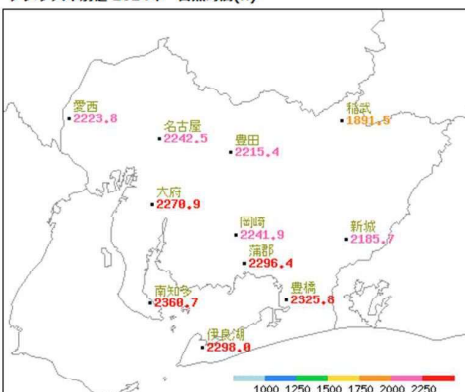
地点名	実況値	平年値	平年比(%)
一宮	1962.5	1698.1	116
愛西	2066.0	1729.9	119
小原	1938.5	1675.1	116
稲武	2362.0	2026.2	117
茶臼山	3496.5	3108.1	112
鯉江	1726.0	1553.2	111
名古屋	1773.0	1578.9	112
豊田	1747.5	1470.4	119
阿蔵	2495.5	2291.0	109
作手	3021.5	2385.3	127
新城	2762.5	2085.5	132
セントレア	1620.5	1363.5	119
一色	1607.0	1459.2	110
蒲郡	1916.0	1631.2	117
南知多	1556.0	1550.1	100
豊橋	2134.5	1651.3	129
伊良湖	1969.5	1642.1	120
田原	2208.0	1641.0	135

アメダス年別値 2024年 降水量平年比(色・階級・値-%)



2024年の年降水量平年比分布図 (%)

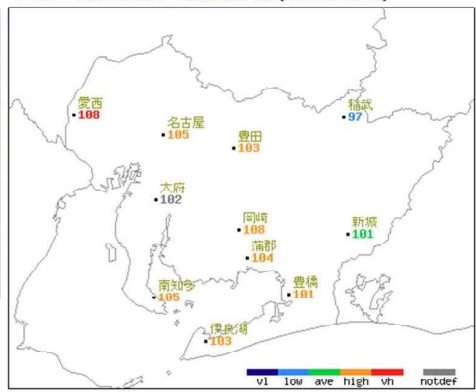
アメダス年別値 2024年 日照時間(h)



2024年の年間日照時間分布図 (h)

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
愛西	2223.8	2067.5	108
稲武	1891.5	1949.7	97
名古屋	2242.5	2141.0	105
豊田	2215.4	2143.3	103
大府	2270.9	2234.3	102
岡崎	2241.9	2081.0	108
新城	2185.7	2171.7	101
蒲郡	2296.4	2218.5	104
南知多	2360.7	2249.9	105
豊橋	2325.8	2293.8	101
伊良湖	2298.0	2222.0	103

アメダス年別値 2024年 日照時間平年比(色・階級・値-%)



2024年の年間日照時間平年比分布図 (%)

※ 愛西、稲武、豊田、大府、岡崎、新城、蒲郡、南知多及び豊橋において、日照時間の値は推計気象分布(日照時間)の推計値、平年値は推計値の平年値を使用しています。

【季節別の概況】

○冬（前年12月～2月）

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりました。1月下旬には、一時的に強い寒気が流れ込み、大雪となった日もありましたが、冬型の気圧配置は長続きせず、2月を中心に暖かい空気が流れ込んだため、2月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は平年並となりました。

○春（3月～5月）

天気は数日の周期で変わりましたが、前線や低気圧の影響で3月下旬と5月下旬は大雨となった日もありました。また、4月は暖かい空気に覆われやすかったため、4月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温は高く、降水量はかなり多く、日照時間は平年並となりました。

○夏（6月～8月）

6月中旬までと7月下旬から8月中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。6月下旬から7月中旬は梅雨前線や低気圧の影響で、8月下旬は台風第10号の影響で曇りや雨の日が多く大雨となった日もありました。強い日射の影響を受け、暖かい空気に覆われやすかったため、7月と8月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間はかなり多くなりました。

○秋（9月～11月）

9月中旬までと11月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、9月下旬から10月は低気圧や前線、及び湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。暖かい空気に覆われやすく、11月に寒気の影響を受けにくかったため、秋を通して月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は平年並となりました。

○12月

前半は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は、寒気や気圧の谷の影響で曇りの日が多くなりました。

名古屋の月平均気温は平年並、月降水量はかなり少なく、月間日照時間は多くなりました。

【2024 年（令和 6 年）の冬日・真夏日などの日数】

日最低気温が0℃未満の冬日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値及び前年（2023 年）の値を下回りました。

日最低気温が25℃以上の日数と日最高気温が35℃以上の猛暑日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値及び前年の値を上回り、特に猛暑日は平年値の3倍以上の日数となりました。日最高気温が30℃以上の真夏日の日数は、名古屋では平年値及び前年の値を上回り、伊良湖では平年値を上回りました。

なお、名古屋、伊良湖ともに、日最低気温が25℃以上の日数、猛暑日の日数は、観測史上1位の値を更新しました。また、名古屋では、真夏日の日数についても観測史上1位の値を更新しました。

	日最低気温が0℃未満（冬日）の日数			日最低気温が25℃以上の日数			日最高気温が30℃以上（真夏日）の日数			日最高気温が35℃以上（猛暑日）の日数		
	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年	2024年	平年	2023年
名古屋	9	23.8	17	56	25.6	49	97	69.7	93	47	15.0	32
伊良湖	1	5.9	5	55	21.1	42	81	51.0	84	26	4.0	5

【2024年（令和6年）の月別平均気温（℃）・降水量(mm)・日照時間（h）】

名古屋		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 (℃)	本年	6.0	8.1	9.0	17.5	19.7	23.8	29.4	30.2	28.2	21.6	14.6	7.0	17.9
	平年値	4.8	5.5	9.2	14.6	19.4	23.0	26.9	28.2	24.5	18.6	12.6	7.2	16.2
	平年差	+1.2	+2.6	-0.2	+2.9	+0.3	+0.8	+2.5	+2.0	+3.7	+3.0	+2.0	-0.2	+1.7
	階級	高い	かなり高い	平年並	かなり高い	平年並	高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い
降水量 (mm)	本年	29.5	138.5	213.5	166.5	206.5	229.0	154.0	282.0	89.0	165.5	98.0	1.0	1773.0
	平年値	50.8	64.7	116.2	127.5	150.3	186.5	211.4	139.5	231.6	164.7	79.1	56.6	1578.9
	平年比	58%	214%	184%	131%	137%	123%	73%	202%	38%	100%	124%	2%	112%
	階級	平年並	かなり多い	かなり多い	多い	多い	多い	平年並	多い	少ない	平年並	多い	かなり少ない	多い
日照時間 (h)	本年	176.4	160.3	201.2	172.5	218.2	193.6	205.0	239.1	187.7	140.7	167.0	180.8	2242.5
	平年値	174.5	175.5	199.7	200.2	205.5	151.8	166.0	201.3	159.6	168.9	167.1	170.3	2141.0
	平年比	101%	91%	101%	86%	106%	128%	123%	119%	118%	83%	100%	106%	105%
	階級	平年並	少ない	平年並	少ない	平年並	かなり多い	多い	多い	多い	少ない	平年並	多い	多い
伊良湖		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 (℃)	本年	7.1	8.8	9.5	16.9	19.1	23.1	28.6	29.3	27.4	21.8	15.6	8.6	18.0
	平年値	6.0	6.3	9.4	14.3	18.8	22.2	26.1	27.4	24.4	19.1	13.6	8.6	16.4
	平年差	+1.1	+2.5	+0.1	+2.6	+0.3	+0.9	+2.5	+1.9	+3.0	+2.7	+2.0	+0.0	+1.6
	階級	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い	平年並	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	かなり高い
降水量 (mm)	本年	38.0	106.5	191.0	170.5	222.0	261.0	87.5	421.0	98.5	272.0	101.0	0.5	1969.5
	平年値	61.9	68.3	121.5	138.8	163.5	179.6	159.6	115.5	240.6	223.9	106.0	63.1	1642.1
	平年比	61%	156%	157%	123%	136%	145%	55%	365%	41%	121%	95%	1%	120%
	階級	少ない	多い	かなり多い	多い	多い	かなり多い	少ない	かなり多い	かなり少ない	多い	平年並	かなり少ない	かなり多い
日照時間 (h)	本年	185.6	116.6	204.0	172.4	209.9	180.2	260.1	268.5	212.3	126.5	162.6	199.3	2298.0
	平年値	180.1	176.1	201.3	201.3	205.1	155.5	194.4	234.2	169.0	164.1	166.0	174.9	2222.0
	平年比	103%	66%	101%	86%	102%	116%	134%	115%	126%	77%	98%	114%	103%
	階級	平年並	かなり少ない	平年並	少ない	平年並	多い	かなり多い	多い	かなり多い	かなり少ない	平年並	多い	多い

(注)

1. 平年値は1991～2020年の資料から求めました。
2. 「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられるように決めています。また、値が1991～2020 年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。
3. 値の横に ）や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示します。 ）付きの値（準正常値）は通常のもと同様に扱うことができますが、]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用してください。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」としました。
4. この資料は速報なので、後日値が変わる可能性があります。

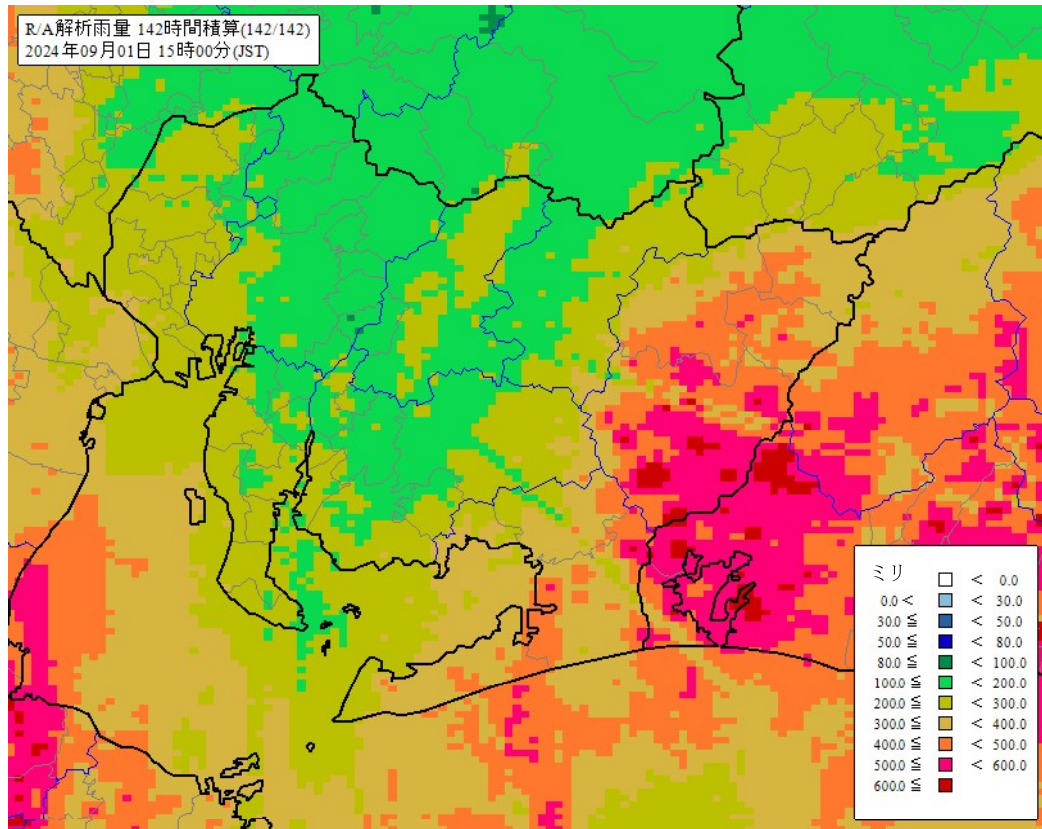
【トピックス】

台風第10号による大雨

8月22日にマリアナ諸島で発生した台風第10号は、24日にかけて発達しながら北へ進み、25日には進路を北西へ変えて進みました。台風は日本付近で動きが遅くなり、27日に非常に強い勢力となって奄美群島に接近した後、29日に鹿児島県薩摩川内市付近に上陸しました。上陸後は、勢力を弱めながらゆっくりとした速度で九州や四国を通って東海道沖へ進み、8月30日に熱帯低気圧に変わりました。

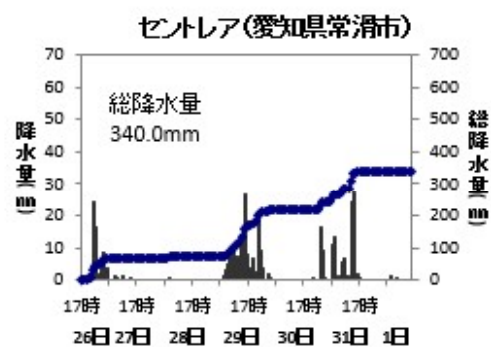
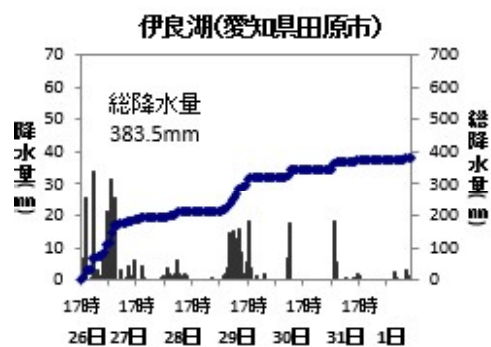
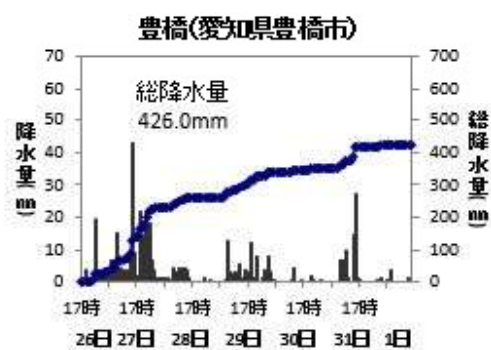
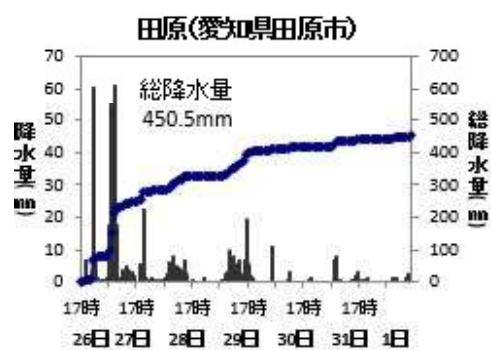
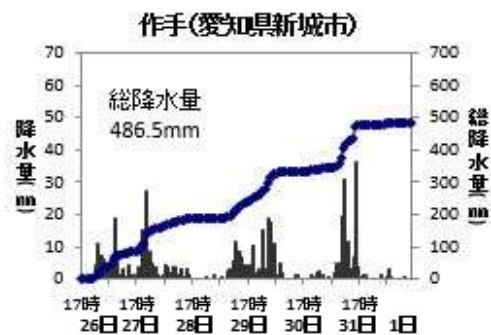
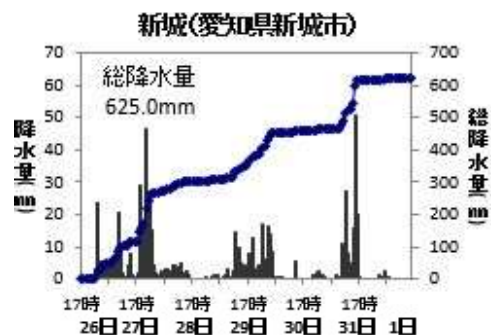
愛知県では、台風本体や周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、また、台風が接近する前には太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気も流れ込み、大気の非常に不安定な状態が長期間続き大雨となりました。このため、東三河北部では、降り始め（26日16時）から1日15時までの総降水量が多い所で600ミリを超える大雨となった所がありました。また、愛知県の取りまとめによると、土砂崩れで死者3名などの被害が発生しました。

○解析雨量（8月26日16時から9月1日15時までの積算値）



- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

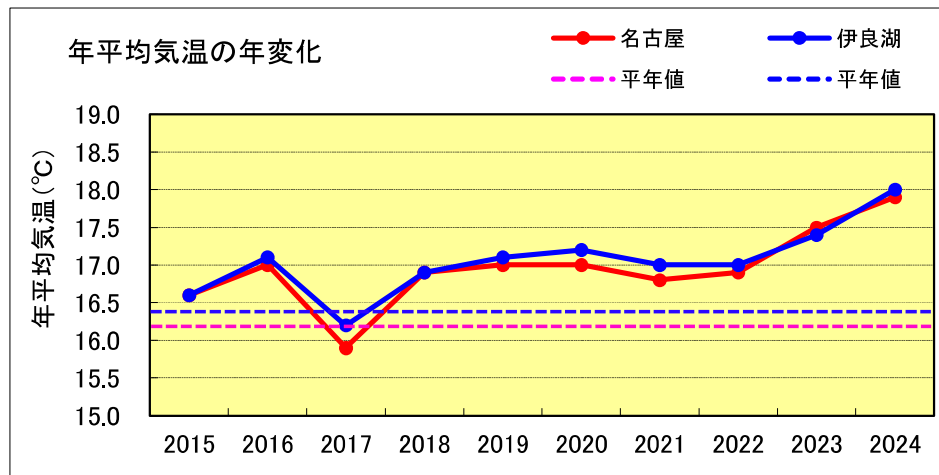
○主な観測所の降水量の推移（8月26日16時～9月1日15時）



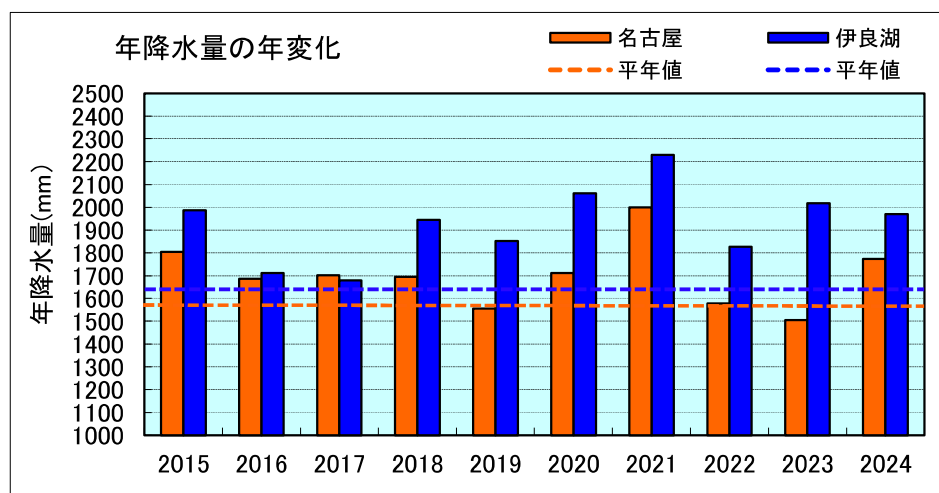
- ・愛知県内のアメダスのうち、総降水量の多かった上位6地点を示しています。
- ・グラフの横軸の1時での降水量は、1時時点での前1時間降水量を表しています。

[参考]

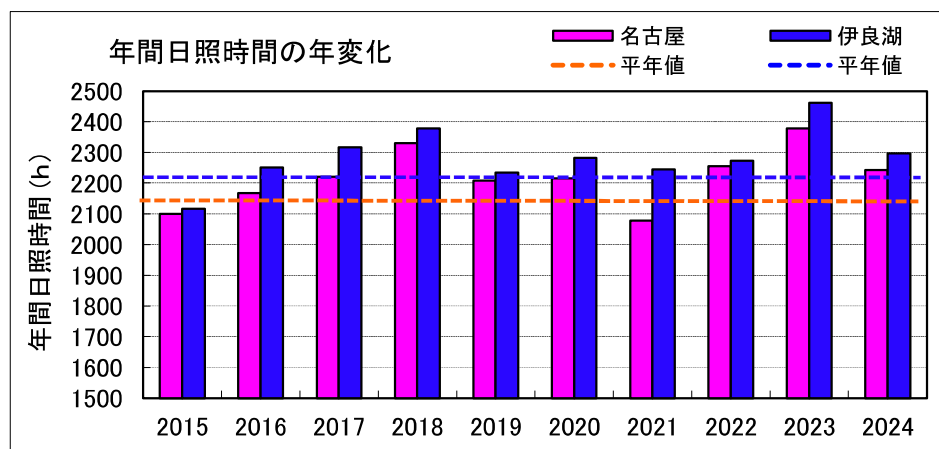
【年平均気温・年降水量・年間日照時間の年変化図（2015～2024年）】



過去10年間の名古屋、伊良湖の年平均気温



過去10年間の名古屋、伊良湖の年降水量



過去10年間の名古屋、伊良湖の年間日照時間

向こう3か月の天候の見通し 東海地方（5月～7月）

予報のポイント

- 向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。

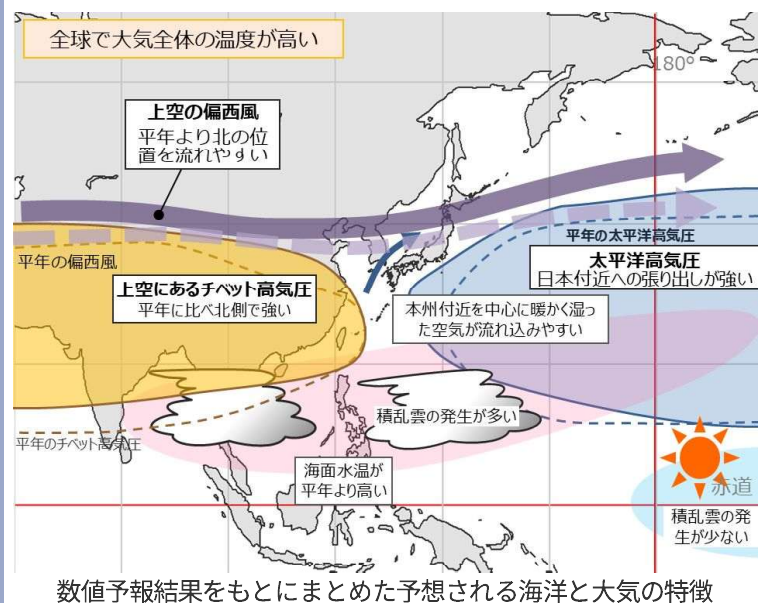
向こう3か月の平均気温・降水量

	平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）
東海地方	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	平均気温（3か月） 低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 50 40 40 50 平年並も40	降水量（3か月） 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 50 40 40 50 平年並も40

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfct/sankou/tokai3.html>）をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- ラニーニャ現象に近い状態は弱まったものの、太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。このため、積乱雲の発生は太平洋赤道域の日付変更線付近で少ない一方、東南アジアからフィリピンの東にかけて多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本付近への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、本州付近を中心に、梅雨前線の活動が活発となる時期があるでしょう。



3か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。中高緯度の大気独自の変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が大きいので、予報を検討する際にはこの点も考慮しています。

5月	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

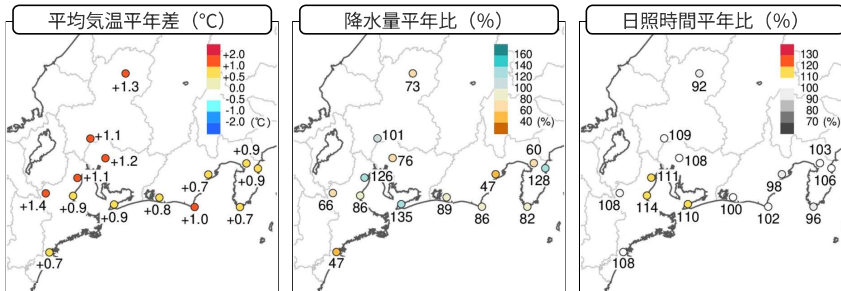
月別の平均気温・降水量

	平均気温 5月	平均気温 6月	平均気温 7月
東海地方	低20 並40 高40% 平年並か高い 見込み	低10 並30 高60% 高い 見込み	低20 並30 高50% 高い 見込み
数値は予想される出現確率 (%) です			
	降水量 5月	降水量 6月	降水量 7月
東海地方	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です			

補足事項

5月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。
 また、新しい予測資料を踏まえ暖候期の天候について検討しましたが、2月25日に発表した暖候期予報の夏（6～8月）の気温、降水量に変更はありません。梅雨の時期の降水量については、この3か月予報をご利用ください。

- 天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われやすく晴れの日が多かったため、降水量は平年を下回り、日照時間は平年を上回りました。一方、中旬には寒冷渦に対応した低気圧や前線の影響で大雨となった日もあり、13日には伊良湖などで4月としての日降水量の極値を更新しました。
- 寒気の影響を受けた時期もありましたが、暖かい空気が流れ込んだ時期もあったため、気温は平年を上回りました。特に、19日には高気圧の縁を回る暖かい空気が流れ込み、4月として日最高気温の極値を更新した所がありました。



(実況) 4/1～4/20	平均気温平年差 (°C)	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東海地方	+1.0°C	86%	105%

これらの図において、値に「J」が付く場合は元となるデータの一部に欠測等が含まれていることを示しています。

また、「x」となる場合は欠測等により、「//」となる場合は平年値がない等により、値が求められないことを示しています。

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tokai3.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>



防災気象情報の改善について（概要）

令和7年 4月

水管理・国土保全局、気象庁

※説明内容は現時点での検討状況のため、
今後変わりうる点をご承知おき下さい。

- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた**新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定**です。
- 新しい防災気象情報では、**住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて各情報を発表**します。
- この方針のもとで、**情報名称の変更**、警戒レベル4相当となる**危険警報の新設**、**洪水関係の情報変更**、**気象防災速報の新設**など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

警戒レベル				主な防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
				指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）		
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）	大雨特別警報（土砂災害）	高潮特別警報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（浸水害） 大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当				

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があってとても分かりにくい。

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル 4 相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル 4 になっている（高潮）
- 高潮注意報がレベル 2 とレベル 3 相当に分かれている（高潮）
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている（大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 高波による浸水	住民が 取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報

現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

線状降水帯 2～3 時前予測
(R8運用開始予定)

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

今後（令和8年度出水期～）

気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象防災速報（線状降水帯発生）

気象防災速報（線状降水帯予測）

気象防災速報（短時間大雪）

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

全般/地方/府県気象情報

全般台風情報

気象解説情報（※）

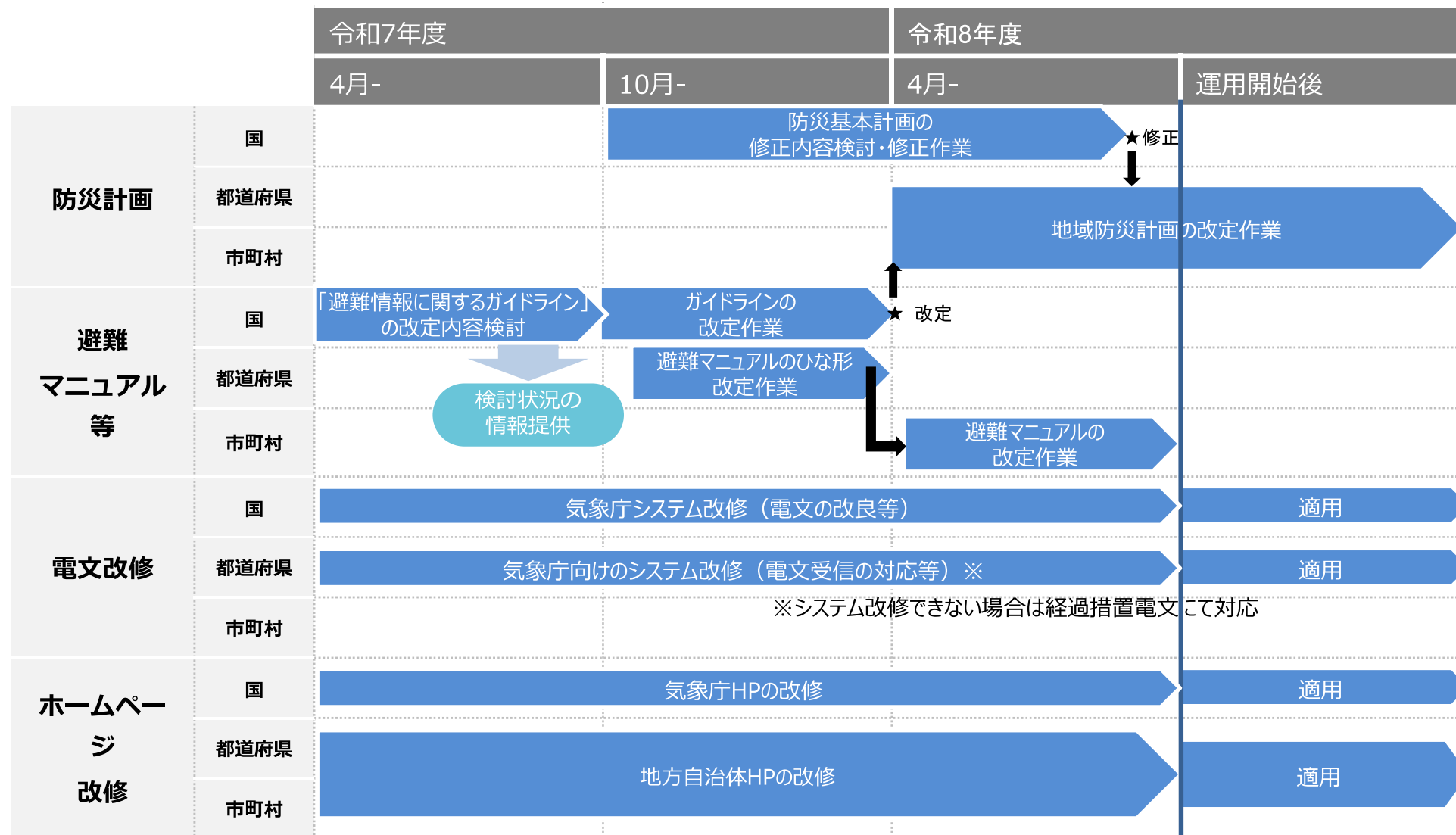
気象解説情報（台風第○号）

- 洪水に関する情報は、**洪水予報河川と水位周知河川の河川ごとの情報とし、これを一般向けの警報扱い**とし、これまでの気象台による**市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない**。
- 水位周知河川については、これまで河川事務所・都道府県から提供してきた水位情報に、今後の洪水危険度の見通しも付した上で、気象台と協力して情報発表する（**当面は国管理河川のみ**）。
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨浸水に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。**洪水予報河川・水位周知河川以外の河川の外水氾濫についても大雨浸水に関する情報の中で一緒に扱う**。（当面は都道府県管理の水位周知河川も大雨浸水の情報の中で扱う）

洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川 ※当面は国管理河川のみ運用	左記以外の河川も含む 洪水警報等		
河川数	約400河川	約1,800河川	大雨浸水に関する情報 で扱う	—	
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	河川事務所または都道府県 と気象台が協力して発表		気象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと		市町村ごと	
対象とする 主な現象	外水氾濫	外水氾濫		内水氾濫及び 洪水予報河川・水位周知河川以外の外水氾濫	
発表指標	水位（実測・予測）	水位（実測） 流域雨量指数（予測）		表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）	
情報 名称	5	レベル5 氾濫特別警報		レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報		レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報		レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報		レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報		早期注意情報	

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

防災気象情報の変更に伴う今後の想定スケジュール



※スケジュールは現時点の想定であり、変更する可能性があります

運用開始